

平成31年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 コーアツ工業株式会社

上場取引所 東証二部・福証

コード番号 1743 URL <http://www.koatsuind.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 三郎

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西 成人

T E L (099) 229-8181

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年9月期第1四半期の連結業績 (平成30年10月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年9月期第1四半期	2,903	39.1	312	70.0	320	67.3	243	70.8
30年9月期第1四半期	2,086	18.6	184	155.5	191	129.8	142	38.0

(注) 包括利益 31年9月期第1四半期 207百万円 (29.1%) 30年9月期第1四半期 160百万円 (9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年9月期第1四半期	320.98	-
30年9月期第1四半期	187.84	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年9月期第1四半期	13,337	6,645	49.8
30年9月期	11,381	6,483	57.0

(参考)自己資本 31年9月期第1四半期 6,645百万円 30年9月期 6,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	-	0 00	-	60 00	60 00
31年9月期	-	-	-	-	-
31年9月期 (予想)	-	0 00	-	60 00	60 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年9月期の 連結 業績予想 (平成30年10月1日～平成31年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,525	19.0	342	△ 15.6	351	△ 16.1	263	7.6	347.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年9月期1Q	760,000株	30年9月期	760,000株
---------------------	----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数	31年9月期1Q	1,798株	30年9月期	1,743株
-----------	----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年9月期1Q	758,223株	30年9月期1Q	758,360株
------------------	----------	----------	----------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績・雇用環境等は引き続き回復基調で推移しているものの、経済の先行きや消費税増税などの将来不安を背景に個人消費は伸び悩んでおります。また、米中貿易摩擦などの海外諸国の不安要素等の影響により、先行き不透明な状況であります。

建設業界におきましては、近年多発する自然災害による復旧復興関連事業などの先行性を有する公共投資は依然として堅調に推移しているものの、慢性的な人手不足による労務費の高騰や資材購入費の高騰等も影響し、厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）は当期経営基本方針として「挙社一致、整備した労働環境の上に、未来を見据えた受注と、高品質の製造・施工を築き、併せて、高収益構造を構築する。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、29億3百万円と前年同四半期に比し8億16百万円増加（39.1%増）となりました。売上高の増加により経常利益3億20百万円と前年同四半期に比し1億29百万円（67.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億43百万円と前年同四半期に比し1億円（70.8%増）とそれぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. 建設事業

当第1四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高（工事進行基準を含む）は、25億3百万円（前年同四半期比61.7%増）となりました。完成工事高の増加に伴い、営業利益は3億52百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

b. コンクリート製品事業

当第1四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、3億45百万円（前年同四半期比26.7%減）となりました。売上原価の削減により営業利益は15百万円（前年同四半期比38.4%増）となりました。

c. 不動産事業

当第1四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は、29百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。定期修繕費が無かったため営業利益は13百万円（前年同四半期比31.1%増）となりました。

d. 売電事業

当第1四半期連結累計期間における売電事業の売上高は、23百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。減価償却費の減少により営業利益は8百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は133億37百万円で、前連結会計年度末に比し19億55百万円増加しました。主な要因は現金預金が8億15百万円、受取手形・完成工事未収入金等が8億62百万円増加したことによるものであります。

負債は66億92百万円で、前連結会計年度末に比し17億93百万円増加しました。主な要因は支払手形・工事未払金等が9億78百万円、短期借入金が4億9百万円増加したことによるものであります。

純資産は66億45百万円で、前連結会計年度末に比し1億62百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加額1億97百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年9月期の業績予想につきましては、平成30年11月9日に公表しました「平成30年9月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	587,849	1,403,482
受取手形・完成工事未収入金等	2,702,479	3,564,548
販売用不動産	89,206	89,206
未成工事支出金	72,427	114,938
商品及び製品	120,412	147,828
仕掛品	5,815	4,038
材料貯蔵品	34,407	35,514
その他	177,048	308,482
流動資産合計	3,789,646	5,668,038
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,270,772	1,262,568
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	675,772	873,550
土地	3,975,056	3,975,056
リース資産(純額)	220,100	220,146
建設仮勘定	18,700	36,987
有形固定資産合計	6,160,401	6,368,308
無形固定資産	25,792	26,180
投資その他の資産		
投資有価証券	1,039,772	989,453
その他	628,845	548,089
貸倒引当金	△262,478	△262,478
投資その他の資産合計	1,406,139	1,275,064
固定資産合計	7,592,333	7,669,553
資産合計	11,381,979	13,337,591

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,645,219	3,623,433
短期借入金	1,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	181,320	216,408
未払法人税等	48,227	43,631
未成工事受入金	419,796	538,190
完成工事補償引当金	7,600	4,700
工事損失引当金	8,500	13,600
賞与引当金	150,340	41,203
災害損失引当金	855	826
その他	332,846	559,816
流動負債合計	3,795,705	5,451,810
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	570,480	774,638
その他	332,444	265,754
固定負債合計	1,102,924	1,240,392
負債合計	4,898,630	6,692,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,751,002	3,948,886
自己株式	△5,144	△5,289
株主資本合計	6,343,357	6,541,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,067	65,095
退職給付に係る調整累計額	39,923	39,196
その他の包括利益累計額合計	139,991	104,291
純資産合計	6,483,349	6,645,389
負債純資産合計	11,381,979	13,337,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,086,539	2,903,315
売上原価	1,676,778	2,388,893
売上総利益	409,761	514,421
販売費及び一般管理費	225,759	201,540
営業利益	184,002	312,881
営業外収益		
受取利息	56	44
受取配当金	2,652	2,714
受取賃貸料	2,232	2,589
作業くず売却益	778	6,262
受取保険金	3,234	—
その他	4,099	2,777
営業外収益合計	13,054	14,388
営業外費用		
支払利息	3,893	2,309
支払保証料	1,078	1,384
その他	366	2,802
営業外費用合計	5,338	6,496
経常利益	191,717	320,773
特別損失		
固定資産売却損	1,320	—
特別損失合計	1,320	—
税金等調整前四半期純利益	190,397	320,773
法人税、住民税及び事業税	5,635	36,488
法人税等調整額	42,305	40,903
法人税等合計	47,940	77,392
四半期純利益	142,456	243,380
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,456	243,380

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	142,456	243,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,198	△34,971
退職給付に係る調整累計額	3,227	△727
その他の包括利益合計	18,426	△35,699
四半期包括利益	160,883	207,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,883	207,680
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事 業	売電事業	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	1,547,966	471,306	27,889	22,831	2,069,993	16,546	—	2,086,539
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	40,281	417	—	40,699	637	△41,337	—
計	1,547,966	511,588	28,307	22,831	2,110,693	17,183	△41,337	2,086,539
セグメント利益	248,339	11,543	10,110	5,948	275,941	953	△92,893	184,002

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおりま
す。

2. セグメント利益調整額△92,893千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれておりま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年10月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事 業	売電事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,503,805	345,682	29,884	23,943	2,903,315	—	2,903,315
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	88,155	387	—	88,543	△88,543	—
計	2,503,805	433,837	30,272	23,943	2,991,858	△88,543	2,903,315
セグメント利益	352,087	15,981	13,258	8,254	389,581	△76,700	312,881

(注) 1. セグメント利益調整額△76,700千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれておりま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 前連結会計年度において連結子会社であった、さつま郷本舗株式会社の全株式を譲渡しております。こ
れに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては記載しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。